

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : メタクリル酸メチル

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 住友化学株式会社

担当者 : MMA事業部 マーケティング部  
〒103-6020  
東京都中央区日本橋二丁目7番1号 東京日本橋タワー

電話番号 : 03-5201-0254

FAX番号 : 03-5201-0458

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 一般工業用(合成樹脂合成原料、塗料樹脂合成原料、紙・樹脂  
の改質剤合成原料 等)

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

爆発物 : 区分に該当しない

可燃性ガス : 区分に該当しない

エアゾール : 区分に該当しない

酸化性ガス : 区分に該当しない

高圧ガス : 区分に該当しない

引火性液体 : 区分2

可燃性固体 : 区分に該当しない

自己反応性化学品 : 分類できない

自然発火性液体 : 区分に該当しない

自然発火性固体 : 区分に該当しない

自己発熱性化学品 : 分類できない

水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

---

酸化性液体	：	区分に該当しない
酸化性固体	：	区分に該当しない
有機過酸化物	：	区分に該当しない
金属腐食性物質	：	分類できない
鈍性化爆発物	：	区分に該当しない
急性毒性（経口）	：	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	：	区分に該当しない
急性毒性（吸入－ガス）	：	区分に該当しない
急性毒性（吸入－蒸気）	：	区分 4
急性毒性（吸入－粉じん及び ミスト）	：	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	：	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼 刺激性	：	分類できない
呼吸器感作性	：	区分 1
皮膚感作性	：	区分 1A
生殖細胞変異原性	：	分類できない
発がん性	：	分類できない
生殖毒性	：	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（単回ばく 露）	：	区分 3（気道刺激性，麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく 露）	：	分類できない
誤えん有害性	：	分類できない
水生環境有害性 短期（急 性）	：	区分 3
水生環境有害性 長期（慢 性）	：	区分に該当しない

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

オゾン層への有害性 : 分類できない

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- H225 引火性の高い液体及び蒸気。
- H332 吸入すると有害。
- H315 皮膚刺激。
- H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- H335 呼吸器への刺激のおそれ。
- H336 眠気又はめまいのおそれ。
- H402 水生生物に有害。

注意書き :

**安全対策：**

- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P241 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P264 取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P284 換気が不適切な場合は呼吸保護具を装着すること。
- P233 容器を密閉しておくこと。

**応急措置：**

- P370 + P378 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。（SDS 第 5 章参照）
- P303 + P361 + P352 + P353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の水【またはシャワー】で洗うこと。
- P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P342 + P312 + P311 呼吸に関する症状が出た場合、および／または、気分が悪い場合：医師に連絡すること。

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

**保管：**

P233 + P403 + P235 + P405 容器を密閉して、換気の良い涼しい場所で施錠して保管すること。

**廃棄：**

P501 国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

重要な徴候及び想定される非：爆発性の過酸化物を形成することがある。  
常事態の概要

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別：化学物質

成分名称	CAS 番号	濃度 (%)	化審法番号	安衛法番号
メタクリル酸メチル	80-62-6	99.8 以上	(2)-1036	公表

**危険有害成分**

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
メタクリル酸メチル	80-62-6	99.8 以上	2-1036

**4. 応急措置**

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。

呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。

鼻、口、喉を水でゆすぐ。

体を毛布などで覆い、保温する。

直ちに医師の診察／手当てを受けること。

もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

皮膚に付着した場合：皮膚を直ちに洗い流す。液体石鹼で十分にこすり、ぬるま湯で洗浄する。

直ちに汚染された服と靴を取り除く/脱ぐ。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

眼に入った場合	: 目を擦ってはならない。 できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の診察／手当てを受けること。 まぶたを開いた状態に保つ。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 体を毛布などで覆い、保温する。 直ちに医師の診察／手当てを受けること。 もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。 呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。 呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
応急措置をする者の保護	: 救助の際は保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水 泡消火剤 乾燥砂
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	: 棒状水 火災の熱などによる濃縮によって爆発するおそれがある。 加熱されると、または異物が混入すると激しく重合するおそれがある。 加熱されたり火災に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。 混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。 火災の際は有害なガス（「10. 安定性及び反応性」参照）が発生し、めまいや窒息や健康被害を引き起こすおそれがある。 消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えることがある。
特有の消火方法	: 危険でなければ漏れを止める。 火災がとめられない場合は、火災の拡大・類焼を防止するために噴霧散水により冷却しながら燃焼させたままにする。 消火活動中に過熱されたボンベ/容器が爆発するおそれがある場合には退避する。 全ての方向に爆発の被害を被らないような適切な避難距離を取る。  燃え広がった場合は、人が近づいて消火してはならない。爆発のおそれがある。 積荷が熱にさらされている場合は、積荷を積載した車両は移動してはならない。 火災の過熱によって、ボンベ/容器が爆発するおそれがある場

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

- 合は、安全な距離を確保して消火活動を行う。  
風上から作業する。  
安全な場所から消火する。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
大規模火災で大量にある場合：区域より退避させ、十分に離れた距離から消火すること。  
周辺の他の未燃可燃物の防護：可能かつ安全ならば、ボンベ/容器を移動させるか、散水などで冷却する。  
外部火災からの製品防護：可能かつ必要がある場合は、製品の入ったボンベ/容器を安全な場所に移動させ、ボンベ/容器または周辺設備を水等で冷却する。  
消火剤で表面を覆い窒息消火する。  
消火に用いた水は堰を作って囲い、環境に配慮した上で廃棄する；物質がちらばらないようにする。
- 消火を行う者の保護 : 各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸器(SCBA)を着用する。  
防護面、ヘルメット、手袋を含む耐炎性防火服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 人体に対する注意事項  
換気が不適切な場合は呼吸保護具を装着すること。  
適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）を着用して、飛沫等の眼または皮膚への付着や、ミストまたは蒸気の吸入をしないようにする。  
緊急処置  
風下の人を退避させ、風上から作業する。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
水路では安全が確認されるまで航行を遮断する。  
周辺環境に、影響（健康被害を含む）を及ぼすおそれがある場合は、周辺の居住者に警告する。  
付近の着火源となるものを、直ちに取り除く。  
危険有害なガスが滞留するおそれがある場所を遮断する。  
（くぼ地、水路、等）  
大きな安全地帯を設定する。  
大量漏出の場合、蒸気を抑えるために泡を使用する。  
大量の場合、噴霧散水は蒸気濃度低減に有効なことがある。  
二次災害の防止策  
全ての着火源（熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等）を取り除く。  
適切な消火剤を準備する（「5. 火災時の措置」を参照）。  
回収された漏出物は、不純物の影響により重合が促進されて、容器が破裂して火災に至るおそれがあるので、回収容器は完全密閉せずに十分冷却する。  
排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に放出しないこと。  
漏出物が水系（河川や下水など）に流入して環境への影響を起こさないように、堤を作って堰止める。

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

悪臭または刺激臭が強いため、周辺の住民に漏出したことの通報をするなどの、適切な措置を行う。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：  
速やかに回収する。  
危険でなければ漏れを止める。  
漏出物を密閉式の容器にできる限り集める。  
広がらないように堰を作り、後で廃棄する。  
残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場所に移す。  
全量を回収する。  
防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。  
全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等)を取り除く。  
漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを求める。  
残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。  
回収作業は、安全取扱い（「7. 取扱い及び保管上の注意」参照）措置をしたうえで実施すること。  
廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

： 全ての着火源を取り除く。  
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。  
凍らせないこと（加温融解時に激しく重合するおそれがある）。万一容器内で凍った場合は、注意深く全量融解させてから使用すること。  
蒸発した後に、凝縮したモノマー液は、重合性が高いので注意すること。  
防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。  
本製品から発生するガスや蒸気は、空気よりも重く、遠方着火あるいは健康被害や環境影響が発生するおそれがあるので、くぼ地、溝および排水溝等に流出させない。  
ミストの発生を防止する。  
漏洩ばく露に備えて、風上から作業する。  
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
設備対策を行い、保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）。  
ミスト／蒸気を吸入しないこと。  
眼や口に入れない、また皮膚に付けない。  
眼、皮膚、衣服への接触を避ける。  
休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。  
皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に適切な保護具を着用する。

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

- 可能な限り、使い捨ての保護衣を着用する。  
汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。  
汚染された保護衣は安全な方法で廃棄すること。
- 局所排気，全体換気 : 局所排気および/または全体換気を行う。  
床に沿って換気する。
- 安全取扱注意事項 : 混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）から離しておく。  
吸入を避ける。
- 衛生対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
密閉系で取り扱えない場合は、屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
本製品を吸入してはならない。  
ヒトへのあらゆるばく露を避けること。  
皮膚および眼との接触を避けること。  
眼や口に入れない、また皮膚に付けない。  
汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。  
汚染された保護具、作業衣等を処分する際は、周辺環境を汚染することがないように適切な方法を用いること。  
取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。
- 保管**
- 安全な保管条件 : 耐火設備を備えた場所に保管する。  
保管場所には、必要な採光または照明および換気の設備を設ける。  
施錠して保管すること。  
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。  
容器の静電気対策（アースやボンディングされた導電性床の上での保管、等）を講じる。  
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。  
直射日光を避ける。  
容器を密閉して、換気の良い涼しい場所に保管すること。  
30℃以下の温度で保管すること。  
排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。  
「10. 安定性及び反応性」を参照。  
爆発性の過酸化物を形成することがある。
- 安全な容器包装材料 : 適した材質：情報無し。  
適さない材質：情報無し。  
国連輸送勧告が指定する容器を使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標（ばく露形態）	管理濃度 / 許容濃度	出典
メタクリル酸メチル	80-62-6	OEL-M	8.3 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

				学会（許容濃度）
詳細情報：気道感作性物質，第2群 人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質．，皮膚感作性物質，第2群 人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質．				
		TWA	50 ppm	ACGIH
		STEL	100 ppm	ACGIH

**設備対策** : 吸収装置を備えた局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。  
取扱場所に、手洗い設備、洗身洗眼設備を設ける。

**保護具**

- 呼吸用保護具** : 呼吸用保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器(SCBA)を着用する。  
防毒マスク  
有機マスク（防毒マスク）
- 手の保護具** : 手の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
不浸透性保護手袋
- 眼の保護具** : 眼の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
安全ゴーグルまたは保護眼鏡と防災面
- 皮膚及び身体の保護具** : 個人用保護具(PPE)は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。  
全身保護衣（必要に応じてエアライン付を利用する）。

**9. 物理的及び化学的性質**

- 物理状態 : 液体  
色 : 無色透明  
臭い : 刺激臭  
融点／凝固点 : -50 °C
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 101.0 °C  
沸点
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界  
爆発範囲の上限 / 可燃上限 : 12.5 % (V)  
値
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限 : 1.7 % (V)

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

## 値

引火点 : 12 °C  
方法：タグ密閉式引火点試験

分解温度 : データなし

pH : 4.4  
(水溶液として)

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : 430 °C

## 粘度

動粘度 (動粘性率) : データなし

## 溶解度

水溶性 : 15 g/l (25 °C)

溶媒に対する溶解性 : 可溶  
溶剤：有機溶剤難溶  
溶剤：エチレングリコール難溶  
溶剤：グリセリンn-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 1.38  
(log 値)

蒸気圧 : 3.7 kPa (20 °C)

密度及び／又は相対密度  
比重 : 0.944 (20 °C)

密度 : データなし

相対ガス密度 : 3.45  
(空気=1.0)

## 粒子特性

粒子サイズ : データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 爆発性の過酸化物を形成することがある。  
危険有害反応可能性 : 熱、化学反応、摩擦、または打撃によって分解が始まり、急

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

激な温度上昇と圧力上昇をもたらすおそれがある。  
加熱されると分解して、容器の破裂に至るおそれがある。  
加熱されると重合して、火災や爆発に至るおそれがある。  
蒸気は空気と爆発性混合気を形成する可能性がある。  
ミストは、温度によらず空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。  
水と接触するとゆっくり加水分解する。

裸火

機械火花

電気火花

溶接火花

高温表面

加熱

摩擦熱

静電気放電

：火災や爆発のおそれ

酸化剤

酸

：火災、爆発、および有毒ガスの発生のおそれ

酸化剤

：衝撃や摩擦により、激しく燃焼または爆発することがある。

加熱

光

重合触媒

酸化剤

：重合促進による火災や爆発のおそれ

有機過酸化物

：激しく重合するおそれ

過酸化物

酸

塩基

酸化剤

：激しく反応するおそれ

避けるべき条件

：

裸火

機械火花

電気火花

溶接火花

光

加熱

高温表面

静電気放電

混触危険物質

：

酸

塩基

酸化剤

過酸化物

有機過酸化物

重合触媒

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素  
二酸化炭素  
炭化水素  
すす

## 11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報 : 経口  
吸入  
経皮  
眼

## 急性毒性

急性毒性（経口） : LD50（ラット）：9,400 mg/kg

急性毒性（吸入） : （ヒト）：方法：ボランティア試験  
標的臓器：麻酔作用

LC50（ラット）：7093 ppm  
ばく露時間：4 h

（ヒト）：方法：疫学情報  
標的臓器：気道刺激性

急性毒性（経皮） : LD50（ウサギ）：> 5,000 mg/kg

## 皮膚腐食性／刺激性

種：ヒト  
方法：事故情報  
結果：刺激性あり

種：ウサギ  
結果：中等度の刺激性あり

## 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

種：ウサギ  
結果：軽度の刺激性あり

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

試験タイプ：呼吸器感作性  
種：ヒト  
方法：臨床報告  
結果：感作性あり

試験タイプ：皮膚感作性  
種：モルモット  
方法：マキシマイゼーション法

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

結果：感作性あり

試験タイプ：皮膚感作性  
種：マウス  
方法：LLNA 法  
結果：感作性あり試験タイプ：皮膚感作性  
種：ヒト  
方法：臨床報告  
結果：感作性あり

## 生殖細胞変異原性

in vitro での遺伝毒性

- 試験タイプ：染色体異常試験  
種：チャイニーズハムスター細胞  
結果：陽性
- 試験タイプ：遺伝子突然変異試験  
種：マウスリンフォーマ  
結果：陽性
- 試験タイプ：Ames 試験  
種：ネズミチフス菌および大腸菌  
結果：陰性

in vivo での遺伝毒性

- 試験タイプ：優性致死試験  
種：マウス  
投与経路：吸入  
結果：陰性
- 試験タイプ：小核試験  
種：マウス  
投与経路：経口  
結果：陰性

## 発がん性

種：ラット  
投与経路：飲水  
方法：発がん性試験  
結果：発がん性なし種：ラット  
投与経路：吸入  
方法：発がん性試験  
結果：発がん性なし

## 生殖毒性

妊娠に対する影響 : 種：ラット

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

投与経路：経口  
方法：2世代繁殖毒性試験  
結果：生殖能に影響なし，繁殖性に影響なし，出生児に対する影響なし

胎児の発育への影響 : 種：ラット  
投与経路：吸入  
方法：催奇形性試験  
結果：催奇形性なし

種：ウサギ  
投与経路：経口  
方法：催奇形性試験  
結果：催奇形性なし

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**  
急性毒性（「11. 有害性情報」）を参照

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**  
種：ラット  
投与経路：吸入  
方法：2年間慢性毒性試験  
標的臓器：特定標的臓器は認められない。

種：ラット  
投与経路：飲水  
方法：2年間慢性毒性試験  
標的臓器：特定標的臓器は認められない。

**誤えん有害性**  
データなし

---

**12. 環境影響情報****生態毒性**

魚毒性 : LC50（ブルーギル）：191 mg/l  
ばく露時間：96 hrs

LC50（ニジマス）：> 79 mg/l  
ばく露時間：96 hrs

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50（ミジンコ）：69 mg/l  
に対する毒性 ばく露時間：48 hrs

藻類に対する毒性 : ErC50（緑藻）：170 mg/l  
ばく露時間：4 Days

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17NOECr (緑藻)：100 mg/l  
ばく露時間：4 Days

魚毒性 (慢性毒性) : NOEC (ゼブラフィッシュ)：9.4 mg/l

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : NOEC (ミジンコ)：3.5 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性)

## 残留性・分解性

生分解性 : 結果：急速分解性あり

## 生体蓄積性

生体蓄積性 : 備考：生物蓄積の可能性は低い。

## 土壤中の移動性

データなし

## オゾン層への有害性

オゾン層破壊係数 : 国際規制：UNEP - オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のためのハンドブック  
備考：リストに掲載なし

## 他の有害影響

データなし

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、内容物/容器を適切に廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN 1247  
国連輸送名 (Proper shipping name) : METHYL METHACRYLATE MONOMER, STABILIZED  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : II  
ラベル (Labels) : 3

## 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 1247  
国連輸送名 (Proper shipping name) : Methyl methacrylate monomer, stabilized  
国連分類 (Class) : 3

## メタクリル酸メチル

改訂日: 2024/03/19 Spec ID: 900000000925 前回改訂日: 2022/04/01  
初回作成日: 2017/01/17

容器等級 (Packing group) : II  
ラベル (Labels) : Flammable Liquids  
梱包指示 (貨物機) : 364  
(Packing instruction  
(cargo aircraft))  
梱包指示 (旅客機) : 353  
(Packing instruction  
(passenger aircraft))

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 (UN number) : UN 1247  
国連輸送名 (Proper shipping name) : METHYL METHACRYLATE MONOMER, STABILIZED  
国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : II  
ラベル (Labels) : 3  
EmS コード (EmS Code) : F-E, S-D  
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当  
(Marine pollutant)

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
供給された状態の製品には非該当。

**緊急時応急措置指針番号**

129P

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確  
実に行う。  
車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、  
緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

第 4 類, 第一石油類, 非水溶性液体

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17

## 労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
メタクリル酸メチル	557	99.8 以上

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
メタクリル酸メチル	557

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第 1 種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
メタクリル酸メチル	420	100

## メタクリル酸メチル

改訂日：  
2024/03/19Spec ID：  
900000000925前回改訂日：2022/04/01  
初回作成日：2017/01/17**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 引火性液体類

**航空法**

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 引火性液体

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質 (Y 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**水質汚濁防止法**

指定物質 (法第 2 条 4 項、施行令第 3 条の 3)

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

特別管理産業廃棄物

**16. その他の情報**

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。